



## 図書館からのお知らせ

## 図書館の配架図が 新しくなりました!

どこにどんな本が置いてあるか、  
地図のように掲載しています。  
ほかにも館内設備の案内や資料の探し方も  
載っています。ぜひご利用ください!



春日井市図書館には、こんな設備もあります!

### 調査研究室(5室)

- 4階カウンターで申込
- ご持参のパソコンや電卓を使うことができます。
- 18歳以上利用可(高校生を除く)
- 1日1回・利用は2時間まで  
(次に利用者がない場合2時間のみ延長可)

### 持ち込みパソコン室(6席)

- 申込不要
- 時間制限なし
- 1名につき机1台
- ご持参のパソコンや電卓を使うことができます。
- 電源はありません
- 18歳以上利用可(高校生を除く)

### 調査用端末

- 3・4階カウンターで申込
- インターネットやデータベースを利用することができます。
- 利用は1時間まで

### 社会人専用席・タタミコーナー

- 申込不要
- 時間制限なし
- 18歳以上利用可(高校生を除く)



飲み物は蓋つきの密閉容器のみ館内に持ち込みができます  
通話はエレベーターホールでお願いします

春日井市図書館 電話:(0568)85-6800

〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5丁目44番地 文化フォーラム春日井 3・4階

開館時間:午前9時~午後8時 休館日:月曜日(休日の場合はその直後の休日でない日)

おすすめ本紹介

# デザイン

デザインは、情報をわかりやすく正しく伝えるために必要不可欠です。デザインにはじめて触れてみたいという方にぴったりの本をご紹介します。



## 『つくるデザイン』

井上 のきあ/著 エムディエヌコーポレーション 727/ツ/23

人が色や図形を見るとき、どのような印象を受けるか？というデザインに関する理論がまとまった本です。どうしてそのデザインが良いのか、理由も含めて解説されています。色とりどりの図で実例が掲載されているので、デザインの仕組みを一目で理解できます。グラフィックデザインを理論立てて学びたい人におすすめです。

## 『脱「パワポっぽさ」のデザインテクニック』

まいぺる/著 KADOKAWA 007.63/タ/24

「今作っているプレゼン資料やチラシ、ちょっとダサい気がするけど何が悪いのだろう…？」とお悩みの方におすすめの、実際の制作をステップアップさせるための本です。フォントやレイアウトなど、完成度を上げるためのコツがたくさん掲載されています。



## 『はじめての Canva』

mikimiki web スクール/著 KADOKAWA 007.64/ハ/24

Canva は使いやすいテンプレートがたくさん揃っているのも、誰でも簡単に使えるデザインツールです。ポスターや名刺、WEB サイトまで簡単に作ることができます。この本があれば、Canva が初めての方でも安心してスタートを切ることができます。



おすすめ本紹介

# 長寿を楽しむ



人生 100 年時代。いつまでも楽しく有意義な人生を送るためには「健康」、なんでも話せる「仲間」、いざという時に役立つ「正しい情報」が必要です。理想的な長寿の夢を叶えてくれる本を紹介します。



## 『いくつになっても「骨」は育つ！』

今泉 久美/著 文化出版局 493.6/イ/22 (鷹来公民館)

老後を自由に楽しむためにいつまでも自分の足で歩きたいものです。そのためには丈夫な骨を手に入れなければいけません。“骨を育てる食事7か条”や骨粗しょう症対策のレシピを日々の生活の中で少し意識するだけで、いくつになっても骨は育つと思うと未来が明るくなります。

## 『よむよむかたる』

朝倉 かすみ/著 文藝春秋 F/アサ/24

喫茶シトロンで月に1回行われる読書会。下は78歳から上は92歳までの個性的なメンバーが、自分たちで選んだ課題図書を順番に音読みし、そのあとに思い思いに感想を言い合います。高齢者ならではのハプニング続出、脱線だらけの会話に盛り上がる読書会。同じ趣味を持つ仲間たちと共に喜んだり悲しんだりできたら、年を重ねることも怖くなくなります。そして、この物語の最後には思いがけない奇跡が…。感動の一冊です。



## 『得する！楽しい！安心！

## シニアの暮らし便利ブック』

太田 差恵子/著 産業編集センター 367.7/ト/23

私達の暮らしの中には様々な不安やリスクがあります。

知っているのと得する情報や受けられる支援、ちょっとした疑問などをわかりやすく教えてくれる本です。

シニア世代に限らず、あらゆる世代が知っておくと役立つ情報が網羅されています。知ると知らないとでは大違い！！是非一度目を通してみてください。



おすすめ本紹介

## 魅惑の黒猫



猫は古代エジプトの時代から、穀物を守る家畜として大切にされてきました。しかし、中世になると黒猫はその毛色から災いや死、悪魔の化身と結び付けられ、特にヨーロッパでは様々な迫害を受けました。それでもなぜか私たちが魅了してやまない黒猫についての本をご紹介します。



### 『黒猫を飼い始めた』

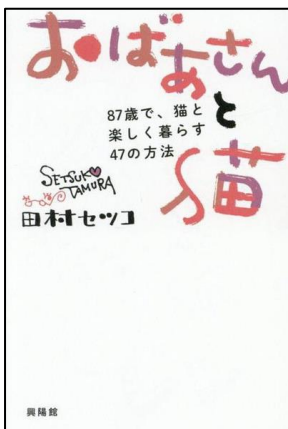
青崎 有吾 他/著 講談社 913.68/ク/22

黒猫は不吉・悪のイメージがありますが、文学においては逆にそれがミステリーによく映え、様々な物語に登場しています。この本は26人の作家による短編小説で、全ての物語は『黒猫を飼い始めた』の一行で始まっています。8番目に出てくるのはなんと白猫…さあ、どんな展開になっているのか…。

### 『黒猫と首輪』

木野 聡子/著 玄光社 645.7/ク/24 (グルッポふじとう)

黒猫の美しい黒い毛並みはエレガンスとシックの極みです。お菓子のパッケージモデルで有名な黒猫ジュウハンくんは、作者お手製の首輪を付けての撮影時には、必ず5分間じっとしているそうです。美しい色と形の首輪を付けて前を見つめる姿には、黒猫ならではの意志と気品も感じられ見飽きません。黒猫の魅力を堪能できる一冊です。



### 『おばあさんと猫』

田村 セツコ/著 興陽館 645.7/オ/25 (グリーンパレス春日井)

黒猫の性格は、頭がよく人懐っこい甘えん坊。中世以降は幸運のマスコットとして大事にされています。マーク・トウェインやヘミングウェイなども黒猫を飼っていました。87歳になるイラストレーターの田村セツコさんも、黒猫のにゃん太とのんびり暮らす様子をエッセイにしています。何も気にすることなくそのままを受け入れていけばいいよ、と猫と暮らすコツを教えてください。